



# 自然エネルギーは 地域のもの

No. 55

## コナン市民 共同発電所



### 夏休み親子エコ・ものづくり 体験講座参加者募集

夏休みの自由研究に役立つかも！

地球温暖化や里山保全の大切さについて学びます。  
ぜひ親子でご参加ください。

- 日時 7月22日(土) 午前10時～正午
- 場所 柑子袋まちづくりセンター
- 対象 小学生と保護者
- 定員 30組(先着順)
- 内容 地域の間伐材を使ったおはし作りで地球温暖化について学ぼう
- 申込方法 問へ

\*この講座は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しています。



問 地域創生推進課(地域エネルギー室)〔東庁舎〕  
☎71・2302 ☎72・2000

### コナン市民共同発電所 4月の 発電結果

- 初号機(バンバン発電所/設備容量20.8kW)  
発電量 **2,470**kWh(一般家庭約8軒分)  
売電額 **106,704**円
- 式号機(甲陸発電所/設備容量105.6kW)  
発電量 **11,694**kWh(一般家庭約38軒分)  
売電額 **505,180**円
- 参考機(十二坊温泉ゆらら発電所/設備容量16.3kW)  
発電量 **1,804**kWh(一般家庭約6軒分)  
売電額 **62,346**円
- 四号機(柑子袋まちづくりセンター発電所/設備容量23.6kW)  
発電量 **2,736**kWh(一般家庭約9軒分)  
売電額 **94,556**円

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

加なども見込まれます。

高年齢で生産年齢人口減少に伴う税収の減少や社会保障費の増加なども見込まれます。

うち普通交付税は平成27年度から削減され始めています。少子高齢化で生産年齢人口減少に伴う税収の減少や社会保障費の増加なども見込まれます。

6月市議会では、中学卒業までの通院医療費や給食費の無料化についての質問が続き、その実現方策について答弁しました。そこで、今月は議会での議論のひとつをレポートします。

小中学生の通院医療費無料化には毎年9500万円が必要となります。給食費無料化には毎年2億5400万円が必要となります。保育園や幼稚園の保育料無料化には毎年3億2800万円が必要となります。

また、例えば高齢社会での移動手段として高齢利用者に限ってバス代を無料化した場合、収入源のバス運賃と同額をバス運行委託会社へ補助金支出することになります。



市の予算は、こうして全体のバランスを見ながら、議会が慎重に審議をして決定いただきます。また、税金は条例で定められますが、その条例を決めるのも議会の仕事となります。

市民の皆さんを代表した議員の皆さんが、議会の場で真剣に議論を重ね、このまちの未来の財政のすがたをかたちづけていただいています。

また、別の支出削減としては、効果的・効率的でない事業を思い切って廃止したり、重複や老朽化した施設を統合廃止したりして支出を切り詰めたり、公立保育園などを民営化して人件費を削減する検討も必要となります。

また、別の支出削減としては、効果的・効率的でない事業を思い切って廃止したり、重複や老朽化した施設を統合廃止したりして支出を切り詰めたり、公立保育園などを民営化して人件費を削減する検討も必要となります。

そうしたなか、支出を増やすためには、収入の増か、別の支出削減が必要となります。

例えば、収入の増としては、固定資産税の税率を0.1%引上げると毎年3億円の財源が確保できます。都市計画税を新設し、市街化区域に限定して税率を0.3%とすると毎年4億2000万円の新しい財源を生み出せます。法人市民税の法人税割を制限税率上限の12.1%まで引き上げると毎年3300万円の税収増につながります。